

トマトの灰色かび病の発生増加に注意しましょう

2月3～6日に行ったトマトの巡回調査で、灰色かび病の発生が平年より多く見られました（発生ほ場率61%（平年比214%）、図1）。12月上旬以降、気温が高く、日照時間が少なかったことと1月下旬に降水量が多かったため、施設内が多湿となり、本病の発生に好適な状況であったと考えられます。また、葉先枯れ（写真1）での発生が見られているほ場では、枯れた部位から本病が発生しやすくなるため、より注意が必要です。

今後、降水量は平年並ですが、日照時間は平年より少ないとの1か月予報から、本病の発生増加が懸念されます。適切に防除を行い、被害の発生を防止しましょう。

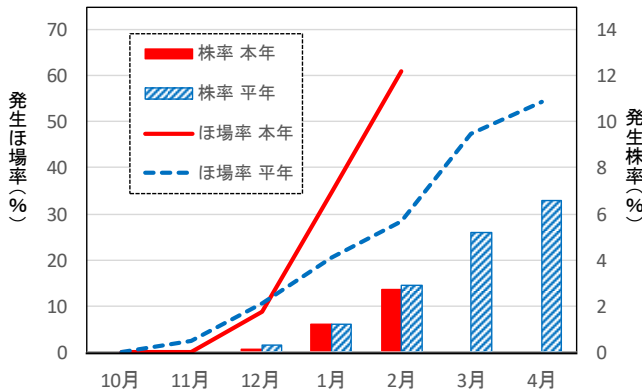


図1 発生状況



写真1 「葉先枯れ」での発病

【防除対策】

- ・施設内が多湿にならないよう換気やかん水に注意する。また、循環扇や暖房機等を用いて通風を図り、施設内の湿度低下に努める。
- ・発病葉、発病果や花卉は伝染源となるので、速やかに取り除き、施設外で処分する。
- ・薬剤散布は予防主体に行う。RACコードを参考に、同一系統の薬剤の連用を避け、異なる系統の薬剤をローテーション散布する（[薬剤感受性検定結果①](#)、[②](#)を当センターホームページに掲載中）。
- ・微生物防除剤（ボトキラー水和剤等）は発病前～発病初期に使用する。また、低温条件では効果が出にくいので、施設内温度は10℃以上を確保する。
- ・曇雨天が続く場合はくん煙剤を使用する。

表1 トマト灰色かび病の防除に使用する主な薬剤（令和2（2020）年2月13日現在）

農薬の名称	使用方法	使用時期	本剤の使用回数	FRACコード
ロブラール500アクア	散布	収穫前日まで	3回以内	2
ロブラールくん煙剤	くん煙	収穫前日まで	3回以内	
ネクスターフロアブル	散布	収穫前日まで	3回以内	7
パレード20フロアブル	散布	収穫前日まで	3回以内	
フルピカフロアブル	散布	収穫前日まで	4回以内	9
ファンタジスタ顆粒水和剤	散布	収穫前日まで	3回以内	11
セイビアーフロアブル20	散布	収穫前日まで	3回以内	12
ピクシオDF	散布	収穫前日まで	4回以内	17
ポリオキシナル水溶剤	散布	収穫前日まで	3回以内	19
シグナムWDG	散布	収穫前日まで	2回以内	11・7
ジャストミート顆粒水和剤	散布	収穫前日まで	3回以内	17・12
ベジセイバー	散布	収穫前日まで	3回以内	7・M5
サンヨール	散布	収穫前日まで	4回以内	M1
ベルコートフロアブル	散布	収穫前日まで	3回以内	M7
ファンベル顆粒水和剤	散布	収穫前日まで	3回以内	M7・11
ラミック顆粒水和剤	散布	収穫前日まで	2回以内	M7・50
カリグリーン	散布	収穫前日まで	-	NC

詳細は、農業環境指導センター（TEL 028-626-3086）までお問合せ下さい。

病害虫情報発表のお知らせは当センターHP（<http://www.jppn.ne.jp/tochigi/index.html>）、ツイッター「栃木県農政部 (@tochigi_nousei)」でもご覧になれます。